

# KRYNA Stage

## [1] 使用上のご注意

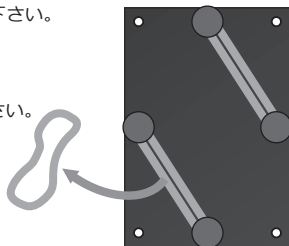
- ◆本機はスピーカーシステム用のスピーカースタンドです。他のものへの利用はご遠慮下さい。
- ◆本機は重量物ですので、セッティング時や運搬時に落としたり、引き摺ったり指をはさんだりすることの無い様、取扱いには十分ご注意ください。
- ◆本機は水平でしっかりとした場所に設置するものとし、不安定な場所には設置しないで下さい。
- ◆本機を倒さないよう、ご注意ください。
- ◆スピーカーシステムが本機から落ちないよう、ご注意ください。
- ◆本機の汚れは、中性洗剤を柔らかい布に含ませて、軽く拭いてください。  
シンナーやベンジン等はご使用にならないようご注意ください。
- ◆スパイクは先端が鋭く尖っておりますので、取付ける際や移動時には十分お気を付け下さい。

## [2] ご使用の前に

Stageでは、輸送の際にキズが付いたり、受け皿が外れたりする事のない様、スパイクの間に緩衝材（ゴム）を入れてあります。  
ご使用の際は、下記の手順で緩衝材を取り外してからお使い下さい。

- 1,スパイクの間に入っている緩衝材（2本）を取り外します。
- 2,付属の六角レンチを使用してスパイクの高さを調整して下さい。

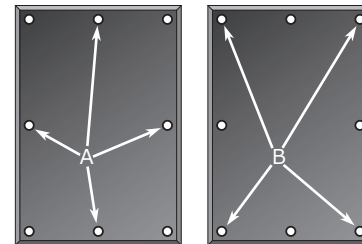
※緩衝材を外さずに使用すると、Stageの本来の性能が発揮出来ません。必ず緩衝材を取り外してからお使い下さい。



## [3] スパイクの取り付け

Stageの底板には、スパイク取り付け用のネジ穴が全部で8箇所用意されています。

ダイヤモンド・フォーメーションで使用する場合（推奨）は、右図Aの4箇所にスパイクを取り付けてお使い下さい。また、オプションのストッパー（別売）を使用する事で、万が一の際の耐震・転倒防止対策が可能です。



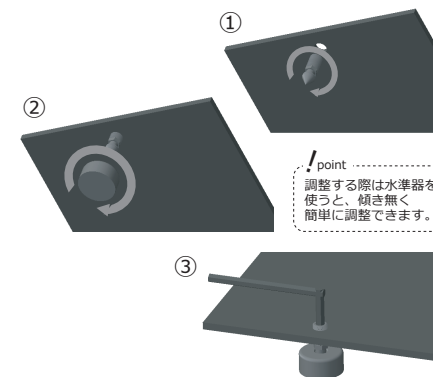
スパイク取り付け位置（推奨） ストッパー取り付け位置

ストッパーを使用する際は、右図Bの4箇所にストッパーを取り付け、通常時にはストッパーが地面に触れない様、スパイクよりも1mm程度短い長さに調節して下さい。

## [4] T-PROPの組み立て

付属のT-PROP（オプション）は、組み立てた状態にて出荷しております。取り外し際には、下記の順番で組み立てを行って下さい。

- ① 底板のスパイク取り付け位置の穴に、T-PROPのスパイク部を取り付けます。
  - ② スパイクの先に受け皿をあて右方向にねじる事で、スパイクと受け皿を組み合わせます。
  - ③ セッティング後に付属の六角レンチもしくはスパナにて高さを調整して下さい。
- ◎ スパイクを引っ張りながら左方向にねじる事で、受け皿を取り外せます。



point  
調整する際は水準器を使うと、傾き無く簡単に調整できます。

※ ねじらずに強く引っ張ると製品が破損し、思わぬ怪我に繋がる可能性がございます。ご注意ください。